

# ぼうさいカフェ

**災害は私たちのすぐ「隣」にあります。**

2019年9・10月は座間市でも風雨災害に見舞われ1000人以上の市民が避難場所へ避難しました。私たちの住む地球の環境は、大きな曲がり角に来ているようです。大丈夫ですか？  
災害とは、私たちに「**良からぬ思い**」をさせるすべてです。

日時： **令和2年1月16日(木)～21日(火)** (土・日は休館)

午前10時から午後4時まで(最終日は午後3時30分まで)

場所： 座間市役所 1階 市民サロン

今年もやります  
ぼうさいカフェ



「避難」って・・・どこに行くの？  
避難所へ行かない「備え」をしよう。  
避難所って簡単には開設できません。  
避難所のことを話しませんか？  
避難所生活は過酷です。

ペットと災害のことを考えませんか？  
あなたにとっては「うちの子」ですが・・・  
避難所には様々な人が来ますね。

裏面もお読みください



ご主人様……

一緒に避難所へ行っても(同行)同じところでは(同伴)暮らせないのだよね。

ケージに入る練習をさせてね。

協働

**ZSVN ざま災害ボランティアネットワーク**

事業

座間市市長室危機管理課



# 「避難行動」そして、「ペット」について考えよう

2010年から市役所1階の「市民ホール」で開催されています。その翌年2011年3月に発災した「東北地方太平洋沖地震」を機に、この防災イベントは注目されるようになりました。その後、わが国ではさまざまな災害が起きています。座間市は、多発する災害から「いのち」を守るために「シェイクアウト訓練」に取り組み、現在では、「ぼうさいカフェ」と並んで座間市の冬の防災訓練として定着しました。

2019年を見るまでもなく、わが国は、いつ、どこでも、大規模な災害が起きてても不思議ではありません。

今年のテーマは「避難行動」と「ペット」について考えようです。

**避難＝避難所へ行くことではありません。**

**「避難」というのは、家の近くの安全な場所で「様子を見る行動」を言います。**その場所が「いっとき集合場所」または「いっとき避難場所」です。避難所には、「収容要件」があります。何よりも、簡単には開設されません。

避難所は「もの」を配る場所ではありません。**避難所へ行かないで済む日常の安全生活空間を作りましょう。**

家が完全に倒壊・全焼した場合には、「避難所」へ収容されます。しかし、ペットは、あなたにとってはかけがえないものでしょう。一緒に避難所へ行くこと（同行）は可能です。しかし、一緒に住むこと（同居）はできません。 避難所には、様々な方が来ます。ペットを連れて「避難所」へ来る場合には約束事があります。

いざという時に困らないように、知っていてほしいです。会場へ来て話を聞いてください。

## 座間市いっせい防災行動訓練

シェイクアウト・プラス1 2020

**生き残らなければ何も始まらない**

訓練実施日時は **令和2年1月23日(木) 午前11時**

座間市のシェイクアウトは、行政が一方的に行う防災訓練ではなく、「市民・行政協働型」による登録型防災訓練で行われるところに特徴があります。8年目の今年も、平日開催です。

座間市の、プラス1訓練は、災害時の総合調整組織となる「災害対策本部設置・運営訓練」に磨きをかける取り組みが計画されています。ざま災害ボランティアネットワークは、座間市社会福祉協議会と連携して新たに作成した「災害救援ボランティアセンター開設・運営マニュアル」についての活用を深めながら、東日本震災から9年の3月14日（土）の訓練に備えます。

**問い合わせ先** 座間市市長室危機管理課 TEL:046-252-7395

ざま災害ボランティアネットワーク Email: zsvn\_info@yahoo.co.jp